



☆ NIE 講演会 ☆

1月17日(木)福島民友新聞社「まなぶん」事務局長 渡辺 順 様、編集局報道部、鈴木 健人 様を講師にお迎えしNIE 講演会を開催しました。鈴木 健人様は、本校の卒業生でもあります。

講演会では、鈴木様より実際の記事を取り上げ、社会の問題点や改善策を報道する記者の仕事について説明がありました。また、活字離れが進む現代において、読解力が低下する状況を踏まえて、文章を読み、意味や意図を正しく理解するために新聞等活字に触れることを習慣づけて欲しいとの呼びかけがありました。渡辺事務局長様からは、新聞を活用して自分の判断基準をもつことの大切さについてお話がありました。



〔講演会を終えて〕

〔生徒感想 1年生〕

今日の講演会を聞いて、これからは今まで以上に新聞や本を読み、読解力をつけることが必要だと分かりました。新聞は、記者の人たちが苦勞しながら一つ一つ記事を書き、間違えないように私たちに伝えてくれるのでテレビやネット以上に読んで役に立つので、これからも新聞を読み、読解力に加えて、文章を書く力もつけていきたいと思いました。

〔生徒感想 2年生〕

新聞記者の仕事や日程などを知ることができ良かったです。一日中、取材を続け、夜遅くまで記事を書くなど大変だと思いました。しかし、大変な中にもおもしろさや、やりがいを感じることでできる仕事だと思いました。

私は本を読むことが好きなので、これからも本や新聞をたくさん読み、読解力を身につけたいと思いました。現在はネット社会ですが、あえてネットやテレビではなく新聞を読みたいと思います。そして自分でよく考えて行動していきたいです。



〔生徒感想 3年生〕

今回の講話を聞いてから「新聞は学校にあるけれど、あまり読まない。」という私の習慣が少し甘かったのだと分かりました。今の人たちは、活字離れが進んでおり、読解力が低下しています。このままでは人工知能に職を奪われるという危機感を持ちました。これから読書量や新聞を読む量を増やしていきたいです。そして身につけた読解力を日常の生活でも生かしていきたいです。